

2023年5月27日(土)

10:00-12:30

宇都宮大学 峰キャンパス  
5B11教室+オンライン

要事前申込



URLは下段より



# 社会共創ハイブリッド型 ワークショップ

カーボンニュートラルな  
栃木県をめざして

～日本の盲点・エネルギー効率改善を考える～



マスコット：とちぎカーボンニュートラル実現リーダー「ニュートラクくん」

予約申込URL <https://forms.gle/yrJHTjgynseWvm5x7> (申込メールに、前日夕方までに資料リンクをお送りします)

写真提供：一般社団法人 宇都宮観光コンベンション協会

## 開催の趣旨

深刻な気候危機を目前に、近年、国や地方自治体は続々と、2050年カーボンニュートラルに向けて宣言や戦略を打ち立てています。国の脱炭素先行地域に選ばれた宇都宮市や那須塩原市も、取り組みを強化しています。でもどのような技術や政策で達成できるのでしょうか。2022年、スウェーデンの共同研究チームは、民生や業務部門等でのエネルギー効率の低さは、日本の盲点だと指摘しました。これを受けて、宇都宮大学では、研究者やNPO専門家、学生たちが協働して、国内外の先行事例をふまえつつ、提案を報告書にまとめました。

この度のワークショップは、その提案のいくつかを、大学生たちがみなさまにお届けします。断熱・エネルギー効率のよい再エネ熱・緑化（Nature-based Solutions）などは、脱炭素につながるだけでなく、私たちの生活を豊かにしてくれるものです。さらに、これらの施策が、宇都宮市や那須塩原市にどのような経済効果や産業転換をもたらすのか、専門家による試算を提供します。後半のワークショップでは、報告を受けて、専門家・学生・市民・NPO・行政の方々が、どのようにすれば施策を実現できるのか、その可能性や課題、克服方法、またそのために私たちは何ができるのかについて、議論を深めます。持続可能なカーボンニュートラルの豊かなポテンシャルを、ともに探りませんか。

## プログラム

### 第1部 基調講演（80分）

- 1 はじめに～開催趣旨と報告書概要 高橋 若菜（宇都宮大学国際学部）
- 2 那須塩原市におけるカーボンニュートラルに向けた取組 相楽 尚志（那須塩原市気候変動対策課）
- 3 エネルギー効率改善に向けた提案（断熱、太陽熱、駐車場緑化を事例に） 宇都宮大国際学部学生
- 4 エネルギー効率改善対策のCO2削減+地域経済効果 歌川 学（産業総合研究所）

### 休憩（10分）

### 第2部 ワークショップ（60分） 司会：増渕 弘子（NPO法人うつのみや環境行動フォーラム）

コメンテーター 高橋 絢（宇都宮市総合政策部政策審議室）相楽 尚志（那須塩原市気候変動対策課）  
閉会挨拶 高嶋 英機（栃木県環境森林部気候変動対策課）

第1部  
相楽 尚志  
那須塩原市  
気候変動対策課課長



第1部  
安納稜太、遠藤千智  
草野羽音、鈴木美波  
宇都宮大学国際学部  
高橋研究室3年

第1部  
高橋 若菜  
宇都宮大学  
国際学部教授



第2部 司会  
増渕 弘子  
NPO法人うつのみや  
環境行動フォーラム  
理事



第1部  
歌川 学  
産業総合研究所安全  
科学部門持続可能シ  
ステム評価研究グ  
ループ主任研究員



第2部  
高橋 絢  
宇都宮市  
総合政策部  
政策審議室  
室長補佐



閉会挨拶  
高嶋 英機  
栃木県  
気候変動対策課  
課長補佐（総括）



宇都宮大学国際学部環境と国際協力  
受講生・環境と国際協力研究室3・  
4年生、大学院生・研究生  
市民、団体の方々等

問合せ：〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

メール：takahashioffice.uu@gmail.com（高橋研究室） 電話番号028-649-5196（平日10-16時）

申込URL <https://forms.gle/yrJHTjgynseWvm5x7>（申込メールに、前日夕方までに資料リンクをお送りします）

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターUU3Sプロジェクト（高橋若菜研究室）

協力：栃木県環境森林部地球環境対策課、宇都宮市総合政策部政策審議室、那須塩原市気候変動対策課  
NPO法人うつのみや環境行動フォーラム、ルンド大学国際産業環境経済研究所（スウェーデン）

後援：宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム、とちぎユースサポーターズネットワーク（予定）

備考：本事業は栃木県大学地域連携活動支援事業による助成等を受けて実施され、  
日本経済新聞社によるNIKKEI脱炭素アワード2022において研究部門奨励賞を受賞しました。  
本ワークショップは国際学部ミッション達成支援経費の補助を受けています。